

年 長 児	
月	I 期 (4～5月)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・年長になったことを喜び、意欲を持って園生活に取り組む。 ・友だちと好きなあそびを十分楽しむ。 ・自然に触れて興味を持ったり動植物の世話をしたりする。
活動例	<ul style="list-style-type: none"> ○グループ活動 (バケツの水汲み、野菜の水やり、玉ねぎの皮むき) ○誕生会の司会、プレゼンター ○運動遊び (なわとび) ○こいのぼり制作 (マジック・絵の具)
10の姿の実践例	<p>「ころかしドッチボール」 <input checked="" type="checkbox"/>①健康な心と体 <input checked="" type="checkbox"/>③協同性 <input checked="" type="checkbox"/>④道徳性・規範意識の芽生え</p> <p>ルールのあるボール遊びは初めて。まずは、子どもの絵カードをホワイトボードに貼り付けてルールを説明してから1試合チャレンジしてみる。試合後、負けたチームの子どもたちと先生が相談。先生「ボールが来たなら？」子どもたち「ジャンプする」「とれるボールは取る」。続いて、先生「投げる時は？」子どもたち「思いっきり投げる」「つよく投げる」。2回戦目に入ると、ボールを持ったらずくに投げたり、当たらずすぐに外野に出たりする等、ルールを理解して楽しんでいる姿が多く見られた。 (⇨ 小1 1学期 体育「ぼーるあそび」)</p> 
	<p>「はたけのおせわ」 <input checked="" type="checkbox"/>⑦自然との関わり・生命の尊重 <input checked="" type="checkbox"/>⑨言葉による伝え合い</p> <p>(5月初旬) 苗の水やりと子どもたちが作った看板立てのために畑へ。先生「昨日と違うところがあるね。」子ども「棒が立ってる」「ひもが付いてる。」先生「どうして棒が立っているの？」子ども「風で取れちゃうから」「前にどうもろこしが折れたことがあった…」野菜を大事に育てていく気持ちを高めるために、子どもたちと対話しながら進めた。</p> <p>(5月下旬) 野菜の生長を見に再び畑へ。まずは畑づくりを手伝ってくださっている先生にごあいさつ。「畑の先生、いつもお世話ありがとうございます。」その後子どもたちは思い思いに野菜の様子を見て回り、最後にみんなで気づいたことを出し合った。「お花が咲いていたよ。」「ピーマンは白いお花。」「トマトは黄色い花だったよ。」「かぼちゃは葉っぱがすこし大きくなってたね。」 (⇨ 小1 1学期～2学期初め 生活「あさがおをうえよう」)</p>  
環境構成	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが主体的に活動するための生活に必要な当番表や手順表の用意をする。 ・気の合う友だちや保育者と好きな遊びを見つけて遊べる遊具や玩具の用意をする。 ・子どもの言葉や思いを拾い上げ、主体的に遊びを展開していけるような対応を行う。 ・春の自然に親しめる活動や遊びの提供。
交流	<p>園内</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年少児のお手伝い(お散歩や集会の際、迎えに行く、昼寝後の布団たたみ) ・なかよし組(異年齢組) <p>園外</p>
家庭地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人ひとりの特徴や性格、家庭状況等を把握する。 ・園での意欲的な姿を知らせたり家庭での様子を聞いたりして一人ひとりの保護者との信頼関係を築く。 ・畑の先生から教わる栽培活動を園児や家庭に広める。

年 長 児	
月	II 期 (6～8月)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・梅雨期や夏の生活の仕方がわかり、健康に過ごす。 ・友だちと互いに思いを出し合いながら、遊びをすすめる。 ・目的をもって試したり、自分の力を発揮したりしながら、夏ならではの遊びを存分に楽しむ。
活動例	<ul style="list-style-type: none"> ○笹、七夕飾り制作 (段ボール、折り紙、染め紙)、たなばた会 ○畑の先生との野菜作り、じゃがいもの収穫 ○どろんこ ○プールあそび
10の姿の実践例	<p>「きれいなたんざくをつくらう(染め紙)」 <input checked="" type="checkbox"/>③協同性 <input checked="" type="checkbox"/>⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 <input checked="" type="checkbox"/>⑨言葉による伝え合い <input checked="" type="checkbox"/>⑩豊かな感性と表現</p> <p>「なぜ、たなばたにさかさざりをするの？」の紙芝居を読んだ後、中からお手紙が出てきた。「みんなのお願いごとも叶えられるように、空から見えるお願いごとを飾ってください。」織姫・彦星様からの手紙だった。染め紙で短冊を作ることになり、先生が7色の絵の具を溶いたカップを用意した。紙をカード位の大きさに折り、自分の好きな3色を選び、折った紙の角に絵の具を付けた。紙を広げると、様々な模様が出てきて、子どもたちは「うわ～、きれい。」「みてみて。」と、とても嬉しそうに見せ合っていた。(⇨ 小1 1学期～2学期初め 園工「いろあそび」)</p> 
	<p>「大事な話」 <input checked="" type="checkbox"/>④道徳性・規範意識の芽生え <input checked="" type="checkbox"/>⑨言葉による伝え合い</p> <p>先生「おうちの人からお話がありました。みんなは言われて嬉しい言葉はなんですか。」子ども「おめでとう。」「かっこいいね。」「難しいことをがんばったね。」先生「では、言われて悲しい言葉はなんですか。」子ども「バカ。」「だいきらい。」「かっこわるい。」先生「言われてどんな気持ちだった？」子ども「悲しい。」先生がホワイトボードに「おでぶちゃん」と書いた。先生「体のことを言われたら、どう？」子ども「悲しい。」「自分が言われて悲しいことは、言わない。ゆり組の約束です。ゆびきりげんまん うそついたら はりせんぼん の一ます ゆびきった。」全員で声に出して約束した。(⇨ 小1 2学期 道徳「なかよし月間のこと」)</p> 
	<p>「プールの絵(制作)」 <input checked="" type="checkbox"/>②自立心 <input checked="" type="checkbox"/>③協同性 <input checked="" type="checkbox"/>⑥思考力の芽生え <input checked="" type="checkbox"/>⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚</p> <p>前はプールあそびをする自分を作った。先生「プールの形をみんなで相談して作ります。」子どもたちは模造紙大の紙をそれぞれ持ってきて並べ始めた。子ども「プール、でっかいからプールの大きさに作ろうよ。」「パズルみたいにくっつけよ。」並べるうちに、ある子が「隙間ができてる。」と気づく。先生「これだと水漏れしちゃうね。」他の子が隙間を埋めるために、紙を上から重ねて置き始めた。それを見ていた子どもも紙を重ね、隙間を埋めた。自分たちで作ったプールができて上がった。</p> 
環境構成	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びの中で、友だちと考えを出し合う場を作る。 ・自分たちで遊びをすすめる楽しさを感じられるように、子どもの姿を予測して必要な環境を準備する。 ・楽しく安全なプール遊びができるように話し合いの場を持ち、ルールを守る大切さに気づけるようにする。
交流	<p>園内</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なかよし組(異年齢組)の応援旗作り、なかよし競技 <p>園外</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6年生との交流会
家庭地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎の際に、家庭や園での姿を共有し合う。 ・畑の先生に野菜の生長に関わる心配事や疑問の解決策を教えもらい、野菜の生長を見守る。また、一緒に収穫することの喜びを味わう。 ・ドキュメンテーションで保護者や地域へ園の様子を伝える。(上片桐地区5施設：改善センター、松川北小、松川高校、子育て支援センターおひさま、コアみらい〈デイサービス〉)

年 長 児	
月	Ⅲ期（9～12月）
ねらい	・目的に向かって自分の力を発揮したり、協力し合ったりして達成する楽しさを味わう。 ・友だちと考えを出し合い、思い描いたものを作り上げていく楽しさや満足感を味わう。 ・身近な自然に興味・関心をもち、遊びに取り入れて楽しむ。
活動例	○お散歩 ○制作「むらやま公園の遊具を作ろう」 ○自然物を使った制作（落葉の擦り出し） ○集団遊び（鬼ごっこ）
10 の姿の 実践例	<p>「運動会ごっこ」 <input checked="" type="checkbox"/>①健康な心と体 <input checked="" type="checkbox"/>②自立心 <input checked="" type="checkbox"/>③協同性 <input checked="" type="checkbox"/>⑤社会生活との関わり</p> <p>プールの時期に制作していた水中の生き物イルカのにじちゃんがクラス種目に登場する。にじちゃんへ手紙を送り、返事をもらう。にじちゃんからやる気が出る手作りのリストバンドももらい、運動会ごっこに向かう頑張りや楽しみになった。また、応援合戦や体操のリーダー、紅白旗を持つ大将等、1人ひとりに役割がある。年少、年中とのなかよし組の競技では3人で力を合わせて果物を運ぶ。年長さんが年少さんのペースに合わせる姿が見られた。（⇨ 小1 2学期体育「ダンス」）</p> 
	<p>「さつまいもほり」 <input checked="" type="checkbox"/>①健康な心と体 <input checked="" type="checkbox"/>⑦自然との関わり・生命の尊重</p> <p>畑に行く前、先生が「春に植えたおいもがいくつ付いているか、どんな形か、よく見ておこう」と園児に伝えた。畑の先生が葉やマルチを切って掘りやすいように準備してくださった。1人1つずつつるを引っ張る。力を入れて持ち上げると、立派なさつまいもが4個ほど付いていた。最後に先生が土の中に残っているいもがないかシャベルで掘り起こす。先生と一緒に最後までいもを探して掘っていた。（⇨ 小1 2学期 生活「さつまいもほり」）</p> 
	<p>制作「さつまいもをつくらう」 <input checked="" type="checkbox"/>⑥思考力の芽生え <input checked="" type="checkbox"/>⑦自然との関わり・生命の尊重 <input checked="" type="checkbox"/>⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 <input checked="" type="checkbox"/>⑨言葉による伝え合い <input checked="" type="checkbox"/>⑩豊かな感性と表現</p> <p>先生がおいもの大きさ、形、数を聞く。子ども「丸かった」「でかい」「細い」「4こ」「5こ」先生「おいもは土の中でどうやってくっついてたのかな？」子ども「根っこだよ。」新聞紙を小さく握ってさつまいもを作る。先生が根っこの部分を作ったY児のさつまいもを紹介する。K児「どうやって作ったか教えて」とY児に聞くと「丸めた端をキュッ、キュッ握ったよ。」近くで見ていたA児は、同じように端を握って根っこを作っていた。</p> 
	<p>「ごっこあそび」 <input checked="" type="checkbox"/>③協同性 <input checked="" type="checkbox"/>⑤社会生活との関わり <input checked="" type="checkbox"/>⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 <input checked="" type="checkbox"/>⑨言葉による伝え合い</p> <p>ごっこ遊びの1つ、お化け屋敷を作る。先生と子ども達で設計図を作る。子ども「分かれ道を作りたい。入口と出口は同じ所。」先生「宝箱はどこに置く？」「K君はここだって。」子ども「うん、いいよ。」みんなで考えを出し先生がまとめて設計図が完成した。ごっこ遊びでは、お化け屋敷、水族館、お店屋さん等、計6か所作った。店員役とお客役の2グループに分かれて、前半後半で交代する。水族館に来た未満児のお客さんに「ここでお金を払ってね。」「サメにあげるエサだよ。エサは上の方で持ってやるといいよ。」とコツを分かりやすく説明していた。ハンバーガー屋さんで「ハッピーセット1つお願いします。」とお客に頼まれたA児。「はい。急いで作らなくちゃ。」B児「お客様、よんじゅうごじゅうえんです。」と店員になりきって遊ぶ。（⇨ 小1 3学期算数・国語「おみせやさんごっこをしよう（おかね・もの名前）」）</p> 
環境構成	・運動遊びが十分できるように場所や遊具を整え、安全な使い方を確認する。 ・1人ひとりの子どもが互いに自分の考えを出し合いながら遊びを進めていけるように、仲立ちをしたり見守ったりする。 ・いろいろな素材や用具を豊富に用意し、適切に使えるように使い方を確認したり援助したりする。
交流	園内 園外 ・なかよし組（異年齢組）競技、クリスマスリース制作 ・進学する小学校での旗拾い ・6年生との交流会②
家庭地域連携	・送迎の際に、家庭や園での姿を共有し合う。 ・運動会に飾る万国旗を家庭で親子制作することを依頼する。 ・畑の先生とさつまいもを収穫する。畑の先生の調理風景を見学し、調理したものを味わう。 ・個人懇談会で園と家庭での様子を共有し、子どもの成長の姿を確かめ合う。

年 長 児	
月	Ⅳ期（1～3月）
ねらい	・友だち同士で遊びに目的を持ち、お互いを認め合いながら協力して遊びを広げたり、満足感を味わったりする。 ・冬の自然や遊びに自ら関わり、いろいろな物への興味、関心を深める。 ・充実した園生活を過ごしながらか、自信を深め、入学への喜びと期待を持つ。
活動例	○お正月遊び ○雪、氷遊び ○劇遊び ○卒園式練習
10 の姿の 実践例	<p>「けん玉」 <input checked="" type="checkbox"/>①健康な心と体 <input checked="" type="checkbox"/>②自立心 <input checked="" type="checkbox"/>③協同性</p> <p>保護者会からプレゼントされたけん玉に挑戦し始めた。1回で成功する子はおらず、何度も挑戦。1週間前に大皿を最後まで続け、成功させたY児は中皿が4回連続で成功するまでになった。朝の自由遊びでもけん玉をしている。けん玉カードが用意され、成功するとシールがもらえる。けん玉を始めて3週目に全員で見合う時間が設けられた。大皿、中皿、小皿を順番に全員で行う。成功したらその場に座り、友だちの様子を見守る。中皿ができず苦戦していたK児は「教えてほしい。」とつぶやく。K児の周りに集まり、やり方を見せたり、「膝を曲げて。」「止めてから始めるよ。」などのコツを伝えたりしていた。</p> 
	<p>「手作りかるた」 <input checked="" type="checkbox"/>③協同性 <input checked="" type="checkbox"/>④道徳性・規範意識の芽生え <input checked="" type="checkbox"/>⑥思考力の芽生え <input checked="" type="checkbox"/>⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 <input checked="" type="checkbox"/>⑨言葉による伝え合い</p> <p>自分たちで作ったかるたを作る。「〇〇が△△した。」の文を作り、そのあと絵を描く。文を作る時は自分で描ける絵にするようにした。子どもたちが作ったかるたは「あいすがとけた」「けんだまだったのしいな」など。かるた取りの約束を先生が子どもに聞く。「読み札を読む時は静かにする。」「先生が読んで「はい」って言って、手が下の人が最初に取った人。」など、自分の言葉で伝えていた。その約束を皆で確認してから、実際にやってみた。（⇨ 小1 2学期生活「百人一首」）</p> 
	<p>「節分（作戦会議をしよう）」 <input checked="" type="checkbox"/>①自立心 <input checked="" type="checkbox"/>③協同性 <input checked="" type="checkbox"/>⑥思考力の芽生え <input checked="" type="checkbox"/>⑨言葉による伝え合い</p> <p>鬼から挑戦状が届く。先生「鬼に連れて行かれてもいい？」子ども「鬼を追い払う。」「鍵を閉めておこう。」「豆を食べる。」などの意見が出る。「鬼に触らないで退治するにはどうしたらいいか。」を皆で考える。子ども「作戦会議をしよう。」「鬼は豆が嫌い。」「豆以外に冬の葉っぱ。」「（昨年のことを思い出して）さかな、前に置いてあった。」年長児が下の学年の子と協力してできそうな作戦を考えていく。</p> <p>制作「鬼のお面をつくらう」 <input checked="" type="checkbox"/>②自立心 <input checked="" type="checkbox"/>⑥思考力の芽生え <input checked="" type="checkbox"/>⑩豊かな感性と表現</p> <p>教室には鬼のお面がいくつか飾ってある。鬼の顔は自分で決めた材料を使って作る。新聞紙を付けた張りぼて、食品トレーなど、1人ずつ顔の材料が違う。色画用紙で尖った角の作り方を先生が実際に作って見せる。紹介した角だけでなくラップの芯を使って作る子もいた。</p> 
	<p>「げきあそび」 <input checked="" type="checkbox"/>③協同性 <input checked="" type="checkbox"/>⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 <input checked="" type="checkbox"/>⑨言葉による伝え合い <input checked="" type="checkbox"/>⑩豊かな感性と表現</p> <p>3グループに分かれて劇遊びをする。まず先生が読み聞かせをしてお話を覚える。その後、子どもたちだけでお話を読んでみる。K児、Y児が中心になって進める。A児に台詞を促す。お話の途中で道具作りへ変わっていく。その様子を見て先生が入り、一緒に動きを付けながら台詞を言い、お話の流れを覚えていた。その後、お面や小道具を作る。</p> 
環境構成	・伝統行事や伝承遊びに親しめるように保育士も一緒に活動する。また、目標を持って頑張る姿やできなくて悔しい気持ちを受け止める。 ・活動をやり遂げる満足感や充実感を味わえるように、友だちとイメージを共有したり、共通の目的に向かって協力したりする場を作る。 ・園生活の楽しかった思い出や卒園式について話をする場を設定し、1人ひとりの気持ちを大切に受け止める。
交流	園内 園外 ・なかよし組（異年齢組）レストランごっこ ・6年生との交流会③ ・来入見1日入学 ・5年生との交流会
家庭地域連携	・送迎の際に、家庭や園での姿を共有し合う。その際、保護者の就学への期待や不安を受け止める。 ・参観日で1年間の園での成長の様子を見てもらう。 ・地域育成会の激励会に参加し、お話を聞き、入学記念品をいただく。

令和4年度 上片桐保育園・松川北小学校 架け橋期のカリキュラム

1 年生

1 学期 (4～5月)		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の生活や環境に慣れ、安心して過ごす。 ・自分からあいさつをしたり相手へ返事を返したりし、クラスの先生や友だちと仲良くなる。 ・みんなで気持ちよく過ごすための約束や決まりを知る。 	
活動例	<ul style="list-style-type: none"> ○学活(朝の会の進め方、校舎内外の約束、遊具の使い方、給食エプロンの着方、配膳の仕方) ○図工(粘土・はさみ、のりの使い方) ○算数(同じ仲間がし、かずとすうじ、数図ブロックを使って) ○生活(学校たんけん) 	
10の姿の実践例	<p>学活「ひなんくんれんのれんしゅう(ヘルメットの置き場所をきめよう)」 <input checked="" type="checkbox"/>①健康な心と体 <input checked="" type="checkbox"/>③協同性</p> <p>先生「ヘルメットをかぶって逃げます。すぐにかぶって逃げるために、ヘルメットはどこに置いたらいいかな?」子どもたち「3人ずつで取りに行ったら?」「その間に火が来ちゃう」「保育園の時は自分のロッカーに入れておいて出したよ。」(実際にやってみて)「ロッカーの上だと小さい人は取れないね。」先生「棚の上は小さい人はとれないから、ロッカーの1番下に2こずつ置いてみよう」みんなで意見を出し合って、ヘルメットの置き場所が決まった。</p> 	
	<p>国語「せいせいとえんぴつのもちかた」 <input checked="" type="checkbox"/>⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚</p> <p>まず、えんぴつ1本、消しゴム1個を机の上に出して、授業の用意をする。全員が用意できたのを確認してから、姿勢の合言葉をみんなで声に出して、「あしはべったん、せなかはびん、おなかとせなかにグーいっこと」2回ほど繰り返す。姿勢が整ったら、「えんぴつつまんでくるりんば すーとたおして おにいさんゆび まくら」と、鉛筆の持ち方の合言葉に合わせて確認した。15分やって先生が「終わりだよ」と伝えると、子どもたちは「え～」と残念そう。鉛筆をもって勉強することへのワクワク感が伝わってきた。</p> 	
	<p>体育「ぼーるあそび(ドッチボール)」 <input checked="" type="checkbox"/>①健康な心と体 <input checked="" type="checkbox"/>③協同性 <input checked="" type="checkbox"/>⑨言葉による伝え合い</p> <p>赤白に分かれて、5分間ずつ2試合。保育園でもかなり経験を積んできているので、試合をやりながら、「早くボールを投げて。」や「横作戦にしよう。(ボールを投げる方向を変える作戦)など、同じチーム内で相手にボールを当てる工夫を考え、互いに声を掛け合いながら取り組んでいた。ふわっと弧を描くように投げる子もいるが、より鋭く直線的な投げ方をしている子もいて、テンポよく試合が進んだ。</p> <p>(⇨年長1期「ころがしドッチボール」)</p> 	
環境作り	<ul style="list-style-type: none"> ・弾力的な時間割の設定(見通しを持ちやすくするために朝の時間や時間割の教科を毎日同じにする。) ・子どもの集中する時間や意欲の高まりを大切に、10分から15分程度の時間割にする。また、学習活動によっては2時間続きで位置付ける。 	
交流	校内	<ul style="list-style-type: none"> ・地域学習の日(1,2年生合同遠足) ・1年生を迎える会(全校) ・なかよし清掃(縦割り:5月23日～7月1日) ・遊びの時間
	校外	
家庭地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・学級通信の配布や連絡帳でのやりとりによって、学校での子どもの様子を伝えたり保護者の不安に寄り添ったりして信頼関係を築く。 	

1 年生

1 学期～2 学期初め (6～8月)		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・周りの友だちや上級生をよく見て、自分でできるようになる。 ・話をよく聞いて、困っていることがあったら自分から伝える。 ・友だちとともに学ぶ楽しさを感じる。 	
活動例	<ul style="list-style-type: none"> ○国語(「くちばし」「おおきなかぶ」「ひらがな) ○算数(ふえたりへったり・たしざん・ひきざん) ○道徳(「とりかえっこ」)よりよい学校生活、集団の充実・「やめなさいよ」善悪の判断、自律、自由と責任) ○体育(水遊び) 	
10の姿の実践例	<p>生活「あさがおをうえよう」 <input checked="" type="checkbox"/>③協同性 <input checked="" type="checkbox"/>⑦自然との関わり・生命尊重 <input checked="" type="checkbox"/>⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 <input checked="" type="checkbox"/>⑨言葉による伝え合い</p> <p>1年生が育てたあさがおの種を、次の1年生へと毎年つないで育てていることを知り、「あさがおを育てたい」という気持ちを高めた。まず鉢に土を入れる。まだ土を入れ終わっていない友だちの所へ行って一緒に土を入れている。4人の班で種を5粒ずつ。全部で20粒袋に入っている。先生「保育園で種を植えましたか?」子ども「やったことない。」「初めて。」先生が種のまき方を端的に伝える。子どもは説明を聞いて地面に穴を開ける作業に入った。班長が友だちの掌に種を5粒乗せて分ける。別の班は先に穴を開けて1人ずつ種をまいたら次の人が蒔く。各々の班でやり方を相談して種を蒔いていた。</p> <p>(⇨年長1期「はたけのおせわ」)</p> 	
	<p>図工「いろあそび(染め紙)」 <input checked="" type="checkbox"/>③協同性 <input checked="" type="checkbox"/>⑥思考力の芽生え <input checked="" type="checkbox"/>⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 <input checked="" type="checkbox"/>⑨言葉による伝え合い <input checked="" type="checkbox"/>⑩豊かな感性と表現</p> <p>小物入れの側面に貼るきれいな模様の紙を作る。1人2枚の障子紙を使い、1枚は四角、もう1枚は三角のじゃばら折りにする。折れたら4人の班ごとで活動。先生が赤、青、黄色の3色の絵の具チューブを1本ずつと、カップ3つを班ごと用意。自分たちで色水を作る。「少しずつ絵の具を入れてみよう。」「(カップに水を汲んできて)ここに入れていいの?」ちょっと不安そうな顔をして、友だちの様子を見てから恐る恐る絵の具を入れる子もいる。絵の具を溶いて折った紙の角を色水につける。広げると綺麗な模様がついて大喜び。「みんな1人ひとり違うからレインボーで素敵。」「自分が作ったのも他の人が作ったのもきれい。」と振り返った。</p> <p>(⇨年長2期「きれいなたんざくをつくらう」)</p> 	
	<p>図工「ぎょうにゅうぼくをつかって」 <input checked="" type="checkbox"/>③協同性 <input checked="" type="checkbox"/>⑥思考力の芽生え <input checked="" type="checkbox"/>⑨言葉による伝え合い</p> <p>牛乳パックを使って小物入れを作る。先生が牛乳パックの切る部分に黒い線を引いておいた。その線に沿って切ると、以前絵の具で染めた紙がちょうどよく貼れるようになっている。牛乳パックは厚くて切りにくい。A君はB君に切り方のコツを伝えたり、パックの端を押さえて切りやすくしたりしていた。C君がはさみの使い方に苦戦していると、同じ班のDさんが切り始めの所だけ切る。その後はC君が自分で切ることができた。班で教え合いながら活動を進める姿が見られた。</p> 	
	環境作り	<ul style="list-style-type: none"> ・タイムタイマーを用意し、授業時間の終わりが自分で確認できるようにする。 ・この時間に何をやるかを黒板に示し、子どもが活動の見通しを持てるようにする。 ・自分でやってみるための補助的な教材準備をする。
交流	校内	<ul style="list-style-type: none"> ・なかよし清掃 ・遊びの時間 ・体力テスト(6年生、3年生と合同体育) ・ほのぼのカードのやり取り(全校)
	校外	
家庭地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日学級通信を発信し、家庭にタイマーで子どもの姿が伝えられるようにする。 ・週1回、読み聞かせボランティアの方に読み聞かせをしていただき、地域の方との交流を続ける。 ・地域の施設(清流苑)を借りて、プール学習を行う。 	

1 年生	
月	2 学期 (9 ~ 12 月)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちとともに学ぶ楽しさを感じる。 ・自分なりのめあてを持って取り組んだり友だちのがんばりを認めたりしようとする。 ・自分のために、友だちのために、考えて話したり、行動したりすることができる。
活動例	○国語(「くじらぐも」「じどう車くらべ」・カタカナ・漢字・硬筆習字) ○算数(たしざん・ひきざん) ○道徳(「ありがとうがいっぱい」感謝・「おふろそうじ」希望と勇気、努力と強い意志) ○体育(かけっこ・ボール遊び・なわとび) ○生活(朝顔の観察・リース作り)
10 の 姿 の 実 践 例	体育「ダンス」 <input checked="" type="checkbox"/> ①健康な心と体 <input checked="" type="checkbox"/> ②自立心 <input checked="" type="checkbox"/> ③協同性 運動会に向けて1～3年生合同の体育でダンスを行う。各クラスで動画を見ながら練習を積み重ねてきた。入場場面では、1人ひとり自分で決めたタイミングで入って自分が踊る場所に立つ。1回目は周りの友だちの様子を見て一緒に入場。先生が「できるだけバラバラで入ってきます。」と伝え、2回目をやる。自分が入場しようと決めたタイミングに動き出す姿が増えた。1人ひとりで動く入場場面と、全体の振りが揃うダンスの場面で動きのメリハリが出た。  (⇨年長Ⅲ期「運動会ごっこ」)
	道徳「なかよし月間のこと」 <input checked="" type="checkbox"/> ③協同性 <input checked="" type="checkbox"/> ④道徳性・規範意識の芽生え <input checked="" type="checkbox"/> ⑨言葉による伝え合い 先生「なかよしのこと、友だちのこと、自分の心を大事にしているかな。立ち止まって考えてみよう。」副学籍の児童から、「運動会に参加してみんなと一緒に優しくしてくれて嬉しかった」という手紙が届いたことを伝える。クラスみんなで大事にしたいことを考え、意見を出し合う。子ども「自分、人の命を大切にする。」「心を大切にする。」「体を守る。」子どもたちが真剣に考えた意見を先生がまとめて、1年生のなかよし月間のめあてにした。なかよし月間の終わりに「話を聞いてくれてありがとう。」「ペア学習の時にヒントをくれてありがとう。」等、友だちとの関わりがなかよしの木いっぱいに貼られた。(⇨年長Ⅱ期「大事な話」) 
	生活「さつまいもほり」 <input checked="" type="checkbox"/> ②自立心 <input checked="" type="checkbox"/> ③協同性 <input checked="" type="checkbox"/> ⑦自然との関わり・生命尊重 1畝ずつ班に分かれて芋掘り。班の仲間で話し、まずすべてのツルを取り除く班、1人1つずつ担当して、自分の掘る場所のツルを取り除く班、それぞれのやり方で始めた。シャベルなどの道具は使わず、自分の手で土をかき分けて芋を探す。「見つけたよ。」「土が硬いから手伝って。」と班の友だちに声を掛けながら協力して掘る姿が見られた。奥深くまで芋が育って掘るのが一苦労なものもあったが、最後まで自分の手で掘っていた。  (⇨年長Ⅲ期「さつまいもほり」)
	生活「百人一首」 <input checked="" type="checkbox"/> ②自立心 <input checked="" type="checkbox"/> ④道徳性・規範意識の芽生え <input checked="" type="checkbox"/> ⑥思考力の芽生え <input checked="" type="checkbox"/> ⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 先生が五色百人一首のやり方を説明。かるたとは違い、取り札の最初の1文字目を探すことを確認する。札は青色とピンク色の40枚を使う。札を取る時の約束は①おてつきは1回休み②同時に取った時は譲り合い(じゃんけんはしない)③1回だけ読むので取ったらすぐに口を閉じる、の3つ。早速1回戦を班でやってみる。子ども達は読んだ言葉とは違う言葉で聞き取ったり、見つけられずに札を場に置いたままにしたり。2回戦目は取った枚数に応じて班を分けて行く。百人一首のやり方を習得し、子ども達は先生が読む言葉をよく聴こうとしていた。  (⇨年長Ⅳ期「手作りかるた」)
	環境作り <ul style="list-style-type: none"> ・活動の終わりの時間を「〇時〇分」と伝え、自分でも確認できるようにタイマーをセットする。 ・子ども同士で声を掛け合い次の活動へ向かうような言葉がけや環境を教師が整える。 ・ペア学習や班で話し合いを持ち、解決する場を作る。
交流	校内 <ul style="list-style-type: none"> ・なかよし清掃 ・遊びの時間 ・低学年合同体育 ・音楽会前の見学会 ・2年生と合同焼き芋
	校外 <ul style="list-style-type: none"> ・ゆり組(年長児)へ運動会の招待状を書く ・松川中央小学校1年生とお手紙交流を行う
家庭地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・週1回、読み聞かせボランティアの方に読み聞かせをしていただき、地域の方との交流を続ける。 ・親子レクレーションを行い、学校家庭の親睦を深める。 ・子ども達が家庭に運動会、音楽会の招待状を書く。 ・保護者懇談会で子どもの育ちを家庭と学校で共有し合う。

1 年生	
月	3 学期 (1 ~ 3 月)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生の仕上げとして気持ちよく終わられるように自分の課題に粘り強く取り組む。 ・友だちと互いに成長した姿を認め合い、感謝の気持ちを持って活動に取り組もうとする。 ・来入見との関わりから、お兄さんお姉さんになる気持ちを高める。
活動例	○国語(「たぬきの糸車」「どうぶつのお赤ちゃん」) ○算数(大きいかず・なんじなんぶん) ○音楽(「フルツケキ」・「卒業式の歌」) ○体育(なわとび・マット遊び) ○生活(五色百人一首、学習発表会のこと)
10 の 姿 の 実 践 例	算数・国語「おみせやさんごっこをしよう(おかね・ものの名前)」 <input checked="" type="checkbox"/> ③協同性 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥思考力の芽生え <input checked="" type="checkbox"/> ⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 <input checked="" type="checkbox"/> ⑨言葉による伝え合い 先生が1円、5円、10円、50円、100円のお金が印刷された画用紙を1枚ずつ子どもに渡す。それを子どもが見て「530円くらい。」「1,060円」と見当を付ける。A児「1円が10枚あるから10円かな。」B児「10円を10こ集めると100円になる。」友だちが発言したお金の数え方をヒントにペアでお金を数える。10円玉10枚の隣に100とメモをする子もいる。全部数えると「720円」になるペアが多かった。次時に全体で総額を確認する。先生が国語「ものの名前」を話題にすると、Y児が「いろいろなものの名前を紙に書いて売ろう。」と提案した。他の子どもたちも「やりたい。」と言い、「おみせやさんごっこ」をすることに。パン屋を担当するT児とY児は、学習カードに「しよくパン」「フランスパン」「チョコレート」等の商品名と値段を相談しながら書く。商品と値段が決まると、画用紙に商品の絵を描く。お店屋さんごっこでは、「おつりは30円だね。」と友だちとやり取りしながら学んでいる姿が見られた。  (⇨年長Ⅲ期「ごっこあそび」)
	生活「来入見1日入学のこと」 <input checked="" type="checkbox"/> ②自立心 <input checked="" type="checkbox"/> ③協同性 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤社会生活との関わり <input checked="" type="checkbox"/> ⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 先生「毎年、この時期に年長さんが小学校へ来ます。1年生が校舎の中を案内したり教えてあげたりします。この会を自分たちで進めていきます。」と伝える。1日入学でやることや会の流れを全体で確認したり、年長さんに招待状を書いたりする。1日入学当日、ペアになって1年生が校舎を案内する。次に校歌を歌って年長さんに知ってもらおう。1年生が大事に育ててきた朝顔の種もプレゼント。「とっっても大事にしてたもの。」と言って年長さんに渡していた。会を進めたり案内したりする姿から、お兄さんお姉さんになろうとする頼もしい姿が見られた。 
	道徳「ちいさなふとん」 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤社会生活との関わり <input checked="" type="checkbox"/> ⑥思考力の芽生え <input checked="" type="checkbox"/> ⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 <input checked="" type="checkbox"/> ⑨言葉による伝え合い 「ちいさなふとん」は、主人公が小さい時に使っていた布団を赤ちゃんの弟が使うことになり、主人公が感じたこと、さらには自分が「大きくなった」と感じる時について考える。「大事に使っていたから弟も大事に使ってほしい。」、自分が大きくなったと感じるのは「小さい頃のお話をしたり写真を見たりする時。」と自分が感じたことを文で書き、皆に発表していた。 
	道徳「ありがとうフックをつくろう」 1年間一緒に生活した友だちにありがとうの気持ちを込めて「いいね」「すごいね」「ありがとう」のメッセージを書く。「日くんはいつもきゆうしょくとうばんをがんばっていていいとおもいました。」「なわとびができるようになってよかったね。」等、友だちのいいところをよく見て書いている。さらに自分から自分へ、家の人へのメッセージも書く。「かん字をいっぱいおぼえたよ。」「大なわがうまいね。」「自分自身を振り返り、成長を感じながら書いていた。
	環境作り <ul style="list-style-type: none"> ・共に成長していることを感じられるように、友だちや自分の「いい所、がんばっている所」を振り返ったり相手に伝えたりする学習や活動を仕組む。 ・ペア学習や班での活動を広げ、クラス全体で考え自分たちで活動を進める機会を作る。
交流	校内 <ul style="list-style-type: none"> ・なかよし清掃 ・遊びの時間 ・6年生を送る会 ・支部児童会
	校外 <ul style="list-style-type: none"> ・ゆり組(年長児)へ1日入学の招待状を書く ・来入見1日入学
家庭地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせボランティアの方に1年間お世話になった感謝のメッセージを書き、渡す。 ・1年間の学校での成長の様子を参観日でお家の方に見てもらおう。